

「広めよう 人を助ける SNS」

～ 小松大谷高校が北陸総合通信局長賞を受賞 ～



山田局長から小松大谷高等学校の高澤さんに表彰状を授与

今回で12回目となる標語の公募は、平成30年12月1日から平成31年2月28日までの間、同協議会ホームページをはじめ、ハガキや電子メール等で募集し、個人部門で19,537点、学校部門で58点、合計19,595点の応募がありました。

注1 情報通信における安心安全推進協議会

情報通信の安心・安全な利用に係るルールやマナー、情報セキュリティ等の重要性に対する理解の醸成を推進することにより、情報通信利用者の保護とともに適正な情報通信利用の促進を図り、安心・安全な情報通信社会の実現に資することを目的に、通信事業者、通信機器メーカー、セキュリティソフトメーカー及び公益法人などが中心となって平成19年12月に設立された団体。

注2 情報通信の安心安全な利用のための標語

平成20年度から、初心者を含む情報通信利用者が安心安全に利用するためのルールやマナー、情報セキュリティに関する意識や知識の重要性に気づき、考えるきっかけとすることを目的に、標語を公募し、受賞作品を用いた啓発活動を行っているものです。

【関連報道資料】

北陸大谷学園小松大谷高等学校が北陸総合通信局長賞を受賞 ～ 2019年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」～ (令和元年5月30日 北陸総合通信局発表)

http://www.soumu.go.jp/soutsu/hokuriku/press/2019/190530_00001.html

情報通信における安心安全推進協議会(注1)では、2019年度「情報通信の安心安全な利用のための標語(注2)」を募集し、学校部門の応募作品の中から、北陸大谷学園 小松大谷高等学校の「広めよう 人を助ける SNS」が北陸総合通信局長賞に選定されました。

これを受け、北陸総合通信局長(山田 和晴)が、令和元年6月10日(月)に同校を訪問し、多田 眞理事長、西 清人校長が出席するなか、標語作成者の同校生徒高澤 天河さんに表彰状を授与しました。

受賞作品は、広報・啓発ポスターをはじめ、全国各地で実施される情報通信の安心安全な利用に係る各種啓発事業・行事などに幅広く活用されます。



校長室での記念撮影

前列左から、西 清人校長、多田 眞理事長、高澤 天河さん、山田 和晴局長

お問い合わせ先 情報通信部電気通信事業課
076-233-4422